

自らめあてを持ち、計画を立てる家庭学習を



大津町の幼稚園、保育園、小学校、中学校では、「育ちのステップ」を作成し、子どもたちの発達段階に応じて、必要なことを示しています。

家庭学習時間。小学生であれば、学年×10+10分。

1年生なら20分。6年生なら、70分。これくらいは、家庭学習が必要であるということです。(学校がある日)

家庭学習も、学校から出される宿題をするだけでなく、学年に応じて、自分で考えて行う学習も大切なものです。

大津町教育委員会 幼保小中連携推進協議会 育ちのステップ (一部抜粋)

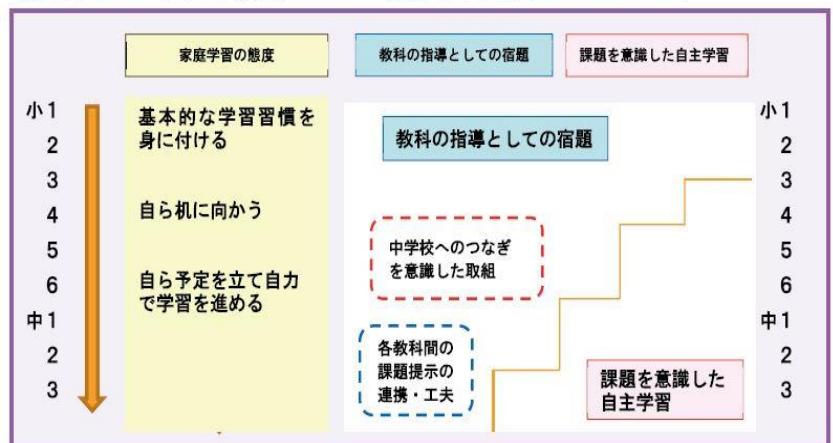
右の系統図は、小学校1年生から中学校3年生までの家庭学習の9年間の系統を示しています。

本校でも、全児童に、家庭学習のめあて、学習する時間帯や場所を記入させることで、主体的に家庭学習に取り組む態度の育成を行っていきます。また、学年が上がるにつれ、自分の課題を見つけ、それに対する自主学習(自学)への取組を行っていきます。

先日の学級懇談会において、担任から説明があったように、家庭学習への取組を、子どもたちが、自分でめあてを決め、計画し、取り組んでいくようにしていきます。どうぞ、ご家庭でもご協力お願いします。

夏休みは、絶好のチャンスです。子どもたちにも、十分な時間がありますので、生活リズムを整え、家庭学習時間も、いつもよりは長くして、けじめある毎日を送る中で、計画的に宿題や自学などに取り組ませていただきますようお願いいたします。

【家庭学習の9年間の系統例(イメージ図)】(宇城市学力向上プロジェクト)



家庭学習の9年間の系統 (「熊本の学び」から抜粋)

5年生、菊池少年自然の家で宿泊教室。

7月8、9日に5年生は、菊池少年自然の家で宿泊教室を行いました。大津南小の5年生と合同でした。あいにくの雨でしたが、室内での活動を楽しみ行うことができました。

1日目は、入所式のあとに、館内でニジマスつかみを行い、それを昼食でいただきました。昼食後は、ガガとペタンク。活動班ごとに協力して行いました。ガガは、仕切られたスペースの中で行うドッジボール。ただし、ルールがあり、膝下に当たるとスペースから出ることにな



ニジマスつかみの様子



ガガを行っている様子

2日目は、チャレンジランキング。館内に18箇所設置されたそれぞれのゲームに活動班でチャレンジするものでした。ペットボトルに割り箸を入れるゲームや、スリッパを飛ばすゲームなど、日頃できないゲームを班で協力して行いました。

菊池少年自然の家に到着したときから、ずっと雨でしたが、館内での活動も大変充実していました。大津南小5年生との交流もたくさんできました。活動班での活動、部屋班での活動など、多くの場面で協力することができました。最初は、なかなか話すことができなかった子どもたちですが、共に活動する中で、心を開き、たくさん話しもすることができました。学ぶことが大きかった宿泊教室でした。

るゲームでした。最後まで残った人がいるチームが勝ち。盛り上がりました。ペタンクは、最初に投げられた黄色いボールの一番近くにボールを寄せられた人がいるチームが勝ち。近くにやっても、それがはじかれる場面も。これも盛り上がりました。この日の夜は、館内でナイトハイク（肝試し）。館内は、真っ暗。叫び声がたくさん聞かれ、とても怖そうでした。



ペタンクを行っている様子